

**令和7年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験
第2次選考試験 模擬授業の実施について【中学校数学】**

1 模擬授業の内容について

(1) 模擬授業Ⅰ【個別指導】

- ・ 学年：第3学年
- ・ 領域：A 数と式
- ・ 内容：A(1) 正の数の平方根
- ・ 概要：個別に指導する場面において、生徒の学習状況を把握しながら、つまづきを踏まえて適切な指導を行う。

あなたは、中学校第3学年の数学科教科担任です。

「平方根」の単元の授業で、「正の数の平方根を含む式の四則計算」の復習問題として、生徒が次の<問題>に取り組んでいます。

<問題> 次の計算をなさい。

(1) $\sqrt{5} \times \sqrt{7}$

(2) $\sqrt{21} \times \sqrt{35}$

(3) $\sqrt{3} + \sqrt{12} - \frac{10}{\sqrt{3}}$

(4) $(\sqrt{2} + \sqrt{5})^2$

ある生徒が次の「学習プリント」のように解答し、「先生、できました。」と言いました。この生徒に個別指導をなさい。

※「学習プリント」及びこの生徒がどのように考えようとしているかは、当日の指導構想を練る時間に分かります。

(2) 模擬授業Ⅱ【全体指導】

- ・ 学年：第2学年
- ・ 領域：C 関数
- ・ 内容：C(1) 一次関数
- ・ 概要：学級全体を指導する場面において、「一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること」について、具体的な問題解決の過程をもとに指導を行う。

あなたは、中学校第2学年の数学科教科担任です。

教室にいる中学校第2学年の、ある学級の生徒全員が、「C 関数（1）一次関数」の学習に取り組んでいます。

本時は、単元の最後の授業の時間です。本場面は、「一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること」について、学習を振り返って、まとめる終末の場面です。

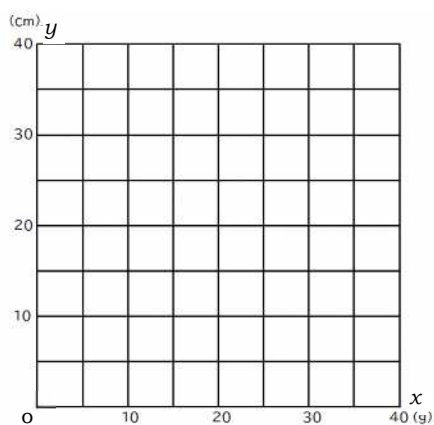
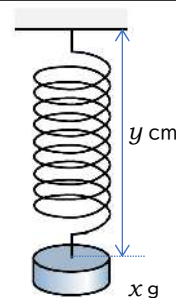
次のような＜問題＞で、つるまきばねに、ある重さのおもりをつるしたときのばねの長さを求めました。この問題解決の過程を振り返りながら、「一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること」について、全体指導を下さい。

＜問題＞

次の表は、長さ11cmのつるまきばねに、いろいろな重さのおもりをつるして、ばねの長さを調べたものです。

おもりの重さ(g)	10	15	20	25	30	35	40
ばねの長さ(cm)	16	20	23	26	28	32	35

このばねに60gのおもりをつるしたときの、ばねの長さはおおよそ何cmになるのかを求める方法を考えましょう。



※具体的な問題解決の過程については、当日の指導構想を練る時間に分かります。

※黒板には＜問題＞と具体的な問題解決の過程が示された用紙が掲示してあります。

2 実施方法について

- ・ 控室で「5分間」指導構想を練る。その後、試験会場に移動し、「4分間以内」で模擬授業を行う。
- ・ 構想を練る際は、控室に準備された教科書（模擬授業Ⅰ及び模擬授業Ⅱ）や学習指導要領解説数学編（模擬授業Ⅱ）を使用してもよい。
- ・ 構想を練る際は、メモをとることができる。試験会場には、このメモと事前に各自で準備したメモを持ち込むことができる。

【事前に準備するメモについて】

- ・メモのサイズや量は問わない。
- ・メモを見ながら授業を行っても構わない。
- ・授業案、口述原稿など、模擬授業に必要な内容を自由に書いてよい。
- ・本や教材などをコピーしたものでも可。
- ・メモを道具（教材）と見立てて示したり、黒板等に掲示したりすることはできない。
- ・メモは評価の対象とはしない。提出は不要とする。

- ・試験会場にある教科書や黒板は、必要に応じて使用可能である。
- ・模擬授業Ⅰでは、「学習プリント」が置かれた生徒用机に生徒がいると想定して個別指導を行う。模擬授業中は、試験委員とのやり取りは一切できない。なお、「学習プリント」に書き込みながら模擬授業を行ってもよい。書き込む筆記用具は各自持参する。（「学習プリント」は模擬授業後、各自持ち帰ること。）
- ・模擬授業Ⅱでは、その場に生徒がいると想定して全体指導を行う。模擬授業中は、試験委員とのやり取りは一切できない。黒板には＜問題＞と具体的な問題解決の過程が示された用紙が掲示してあるため、黒板を使用しながら模擬授業を行ってもよい。その際、会場にあるチョーク、ペンを使用してもよい。